

きんざいNEWS
VOL.157
2026.1.23
近畿財務局

共創マツチングピッチOSAKA ～地域がつなぐアフター万博の未来～

開催日：2025.11.17(月)

要 旨

- 11月17日(月)、2025年大阪・関西万博(以下「万博」という)を契機に高まった社会課題への関心やイノベーションの機運を地域に根付かせる新たな連携のきっかけの場を創出することを目的に、 Pitchイベント「共創マッチングピッチOSAKA～地域がつなぐアフター万博の未来～」を開催しました。
- 本イベントには、地方公共団体、金融機関、スタートアップ企業など約120名の方々が参加。第1部では医療・健康分野、第2部では環境分野をテーマとして、金融機関及び企業より、各々の取組や連携イメージ等について熱意あるピッチ(ショートプレゼン)が行われたほか、地方公共団体によるリバースピッチの時間も設け、公民連携の可能性を拡大させました。
- 各部のピッチプログラム終了後には、交流会(名刺交換会)を開催し、また、後日、ピッチ登壇者に対するマッチング希望者を当局がつなぐなど、新たな連携を促進することができました。

名 称 共創マッチングピッチOSAKA～地域がつなぐアフター万博の未来～

日 時 令和7年11月17日(月)13:30～18:00

形 式 対面参加

会 場 Blooming Camp 大阪府大阪市北区大深町6番38号 グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 3F

内 容 13:30～15:15 第1部 ピッチプログラム(医療・健康分野)、交流会(名刺交換会)
15:15～18:00 第2部 ピッチプログラム(環境分野)、共催者による取組紹介、
地方公共団体によるリバースピッチ、交流会(名刺交換会)

参加者 地方公共団体、金融機関、スタートアップ企業など約120名

主 催 近畿財務局

共 催 さくらインターネット株式会社、OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション

後 援 大阪府



キンザイキャッツが
参加者をお出迎え!!

取組の背景・工夫

- 万博が10月13日（月）に成功裏に閉幕した一方、『万博での展示を閉幕後の企業成長につなげられるかが課題』『万博で披露された新技術・サービスの実装化についての国の支援が必要』といった万博後を懸念する声が聞かれているところです。
- そうした中、当局はこれまでも万博の成功に向けて機運醸成等に取り組んできたことから、上記の声を踏まえ、アフター万博における課題解消に向けて、当局の強みを活かした取組を検討することになりました。
- 本企画の共催先や大阪府等からお話を聞かせていただく中で、取組の方向性を万博のテーマに合致する分野（医療・健康、環境）で、地域における公民連携促進を支援することに決定。当局が地域のつなぎ役として、地域における連携のきっかけとなる場を創設することを目的に、登壇企業から地方公共団体の公民連携担当者等に向けて、地域課題の解決策をピッチするイベントを企画することになりました。
- また、ピッチ登壇企業に関しては、当局が大阪府内の地方公共団体から事前に把握した「企業と連携して解決したい地域課題（医療・健康、環境分野）」を基に、その解決策を提案できる万博出展企業等を金融機関が選定（※）する枠組みを導入。取引先企業の中から公民連携により熱心な万博出展企業を選定いただくことにより、公民連携の可能性が高まることに加え、万博で培われた新技術・サービスが地域社会に実装されることを目指しました。

（※）大阪府内に本店が所在する地方銀行、信用金庫等のうち、当企画の趣旨に賛同いただいた6金融機関が参加。

なお、ピッチ登壇企業のうち大層が万博出展企業。

（大阪ヘルスケアパビリオン、ブルーオーシャンドームほか）



主催者挨拶

万博の価値を一過性で終わらせないために

大阪・関西万博は成功裏に閉幕となりましたが、これを一過性のイベントで終わらせるのではなく、万博により培われた成果や価値を、地域の活性化に繋げていくことが重要。

アフター万博に向けた地域のイノベーション創出イベント

近畿財務局は、万博の機運醸成のため様々な企画を実施してきましたが、アフター万博についても何か貢献出来ないかと考え、今回のイベントを企画しました。

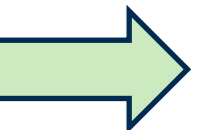
垣根を越えた連携で関西経済の成長を目指して

本イベントを通じて、地方公共団体の皆様の課題解決に貢献するとともに、企業や金融機関の垣根を超えた連携・マッチングを促すことにより、関西経済全体の活性化の一助となり、万博により培われた機運等が関西全域に根付くことを祈念しております。



近畿財務局 坂口局長

次ページから当日のピッチの模様をご紹介します！



第1部 医療・健康分野

金融機関及び企業のHPについては、ロゴをクリック！



〈ピッチタイトル〉毛細血管で未病を見つける新しい健康診断サービス

×



〈ピッチタイトル〉アフター万博の健康インフラ“毛細血管スコープ”
で手軽に簡単健康チェック

あっと株式会社 武野 様

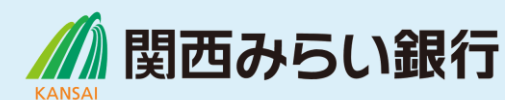


〈ピッチタイトル〉テクノロジーで“障がい”を社会に融和する”
Lean on Me様の取り組み

×



〈ピッチタイトル〉「障がい」への社会理解を加速させる取り組み
(株)Lean on Me 倉見 様



〈ピッチタイトル〉関西みらい銀行の企業支援と地域連携

×



〈ピッチタイトル〉手のひらサイズの検査革命
GLEIAが拓くミライの医療
(株)イムノセンス 杉原 様

企業ピッチ概要

- ・万博で120分待ちの大人気の“見える化”
技術、毛細血管測定で健康意識を醸成
- ・1分間指先を置くだけの毛細血管測定で、
個別化健康提案からQOLを向上

企業ピッチ概要

- ・「障がいを社会融和する」をミッションに掲げ、
地域や企業に必要なと考える環境作りについ
て、実際の活動を紹介

企業ピッチ概要

- ・「いつでも・だれでも・どこでも医療
グレードの迅速検査」が可能
- ・医療の現場をはじめ、未病・診断・
予後管理の面で活用



未病を見える化する、毛細血管測定

毛細血管は健康者の不調(=未病)を捉える健康管理指標になる



障がいのある方への理解を深めるeラーニング
Special Learning
スペシャルラーニング

コンテンツ数
2,005本
※2025年10月16日現在



すべての支援者に継続的な学びの機会を提供します

MISSION
ビジョンを実現するためのLean on Meの使命
"障がい"を社会に融和する



GLEIAセルフチェックsIgA

唾液に含まれるsIgAを簡単操作でその場で測定



第1部 医療・健康分野

金融機関及び企業のHPについては、ロゴをクリック！



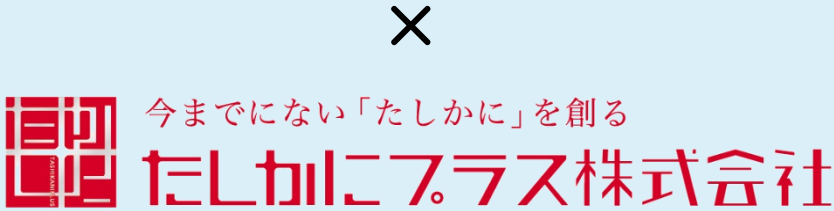
〈ピッチタイトル〉想いある創業を、地域からそっと支える
～株式会社セカンドハート様と私たちとのご縁～



〈ピッチタイトル〉足の悩みを見える化する"ASHI TERRACE"
(株)セカンドハート 石田 様



〈ピッチタイトル〉中小企業の課題解決と大阪・関西万博への取り組み



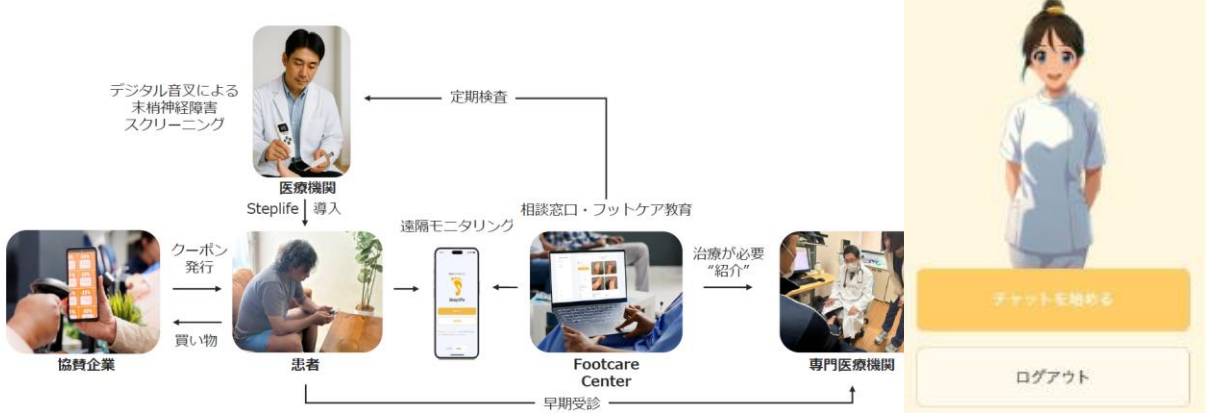
〈ピッチタイトル〉性格から見つける、わたしに合った健康法
「マインドサーキット」
たしかにプラス(株) 深谷 様

企業ピッチ概要

- ・住民が気軽に足の悩みを相談できる場を提供
- ・足病の啓蒙とアンケートから健康課題を可視化



足をまもるために必要な仕組み



企業ピッチ概要

- ・万博で1日500名が体験。75%の方から「健康意識が高まった」と高評価
- ・検査とソリューションの間を埋める新しいコミュニケーションツール



健康サービスで見過ごされてきた隙間



第2部 環境分野

金融機関及び企業のHPについては、ロゴをクリック！



〈ピッチタイトル〉関西みらい銀行の企業支援と地域連携



〈ピッチタイトル〉安全な水と循環型トイレを世界中に
(株)TI plusホールディングス 谷口 様



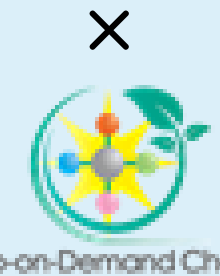
〈ピッチタイトル〉新しいインフラ維持管理の仕組みづくりに
取り組む大阪大学発のスタートアップ



〈ピッチタイトル〉インフラ維持管理の新しい仕組み作り
「土木せんせい」
(株)コクリエ 高崎 様



〈ピッチタイトル〉(株)池田泉州銀行との連携による
光オンデマンドケミカル(株)の社会実装の取組み



〈ピッチタイトル〉STOP地球温暖化：温室効果の大きな
メタンを削減する光ものづくり
光オンデマンドケミカル(株) 津田 様

企業ピッチ概要

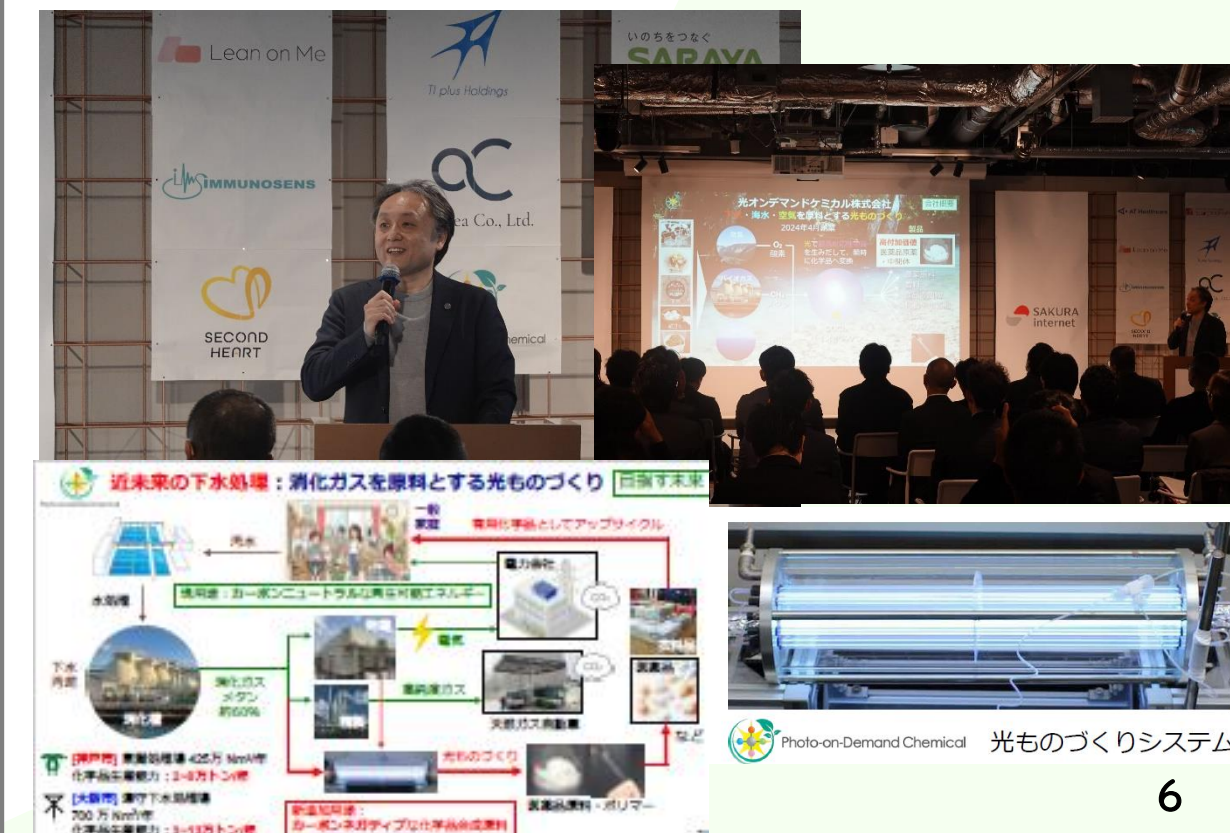
- ・「排水放流なし、水源不要、条件を選ばない、臭わないトイレ」システムの紹介
- ・農地、公園、河川敷、登山道など設置困難だった場所に導入可能な水洗トイレシステム

企業ピッチ概要

- ・過疎地域のインフラ維持管理の最適化を実現する新手法
- ・ノウハウをシェアするプラットフォーム「土木せんせい」

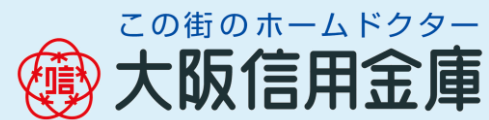
企業ピッチ概要

- ・地球温暖化係数が高いメタンを原料とする光オン・デマンド有機合成法の概要
- ・関西発・世界初の「光ものづくり」によるビジネスと地域連携

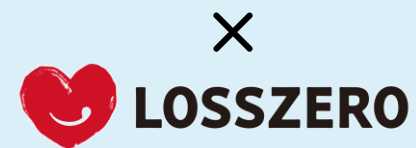


第2部 環境分野

金融機関及び企業のHPについては、ロゴをクリック！

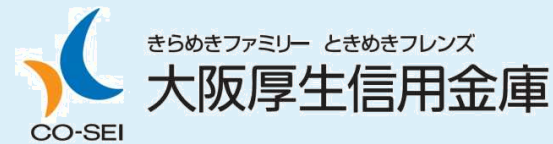


〈ピッチタイトル〉株式会社ロスゼロ様とともに歩む
「おおさか地域活性化」



〈ピッチタイトル〉食品ロスを資源に変える。高付加価値化
と公民連携事例

(株)ロスゼロ 文 様



〈ピッチタイトル〉サラヤ株式会社について



〈ピッチタイトル〉環境と課題解決に向けた
新たなコールドチェーン連携と価値共創
サラヤ(株) 脇本 様



〈ピッチタイトル〉中小企業の課題解決と
大阪・関西万博への取り組み



〈ピッチタイトル〉家庭系廃食用油の有効活用について
植田油脂(株) 細川 様

企業ピッチ概要

- ・未利用材料のアップサイクル、余剰食品のシェアリングなどのビジネスモデル説明
- ・大企業とのオープンイノベーションと公民連携事例

企業ピッチ概要

- ・海と環境問題、持続可能な水産資源と企業をつなぐ価値創造
- ・コールドチェーンでつなぐSDGs (地方創生/人手不足/フードロス/原価高騰など)

企業ピッチ概要

- ・家庭系廃食用油の需要
- ・家庭系廃食用油回収の広がり

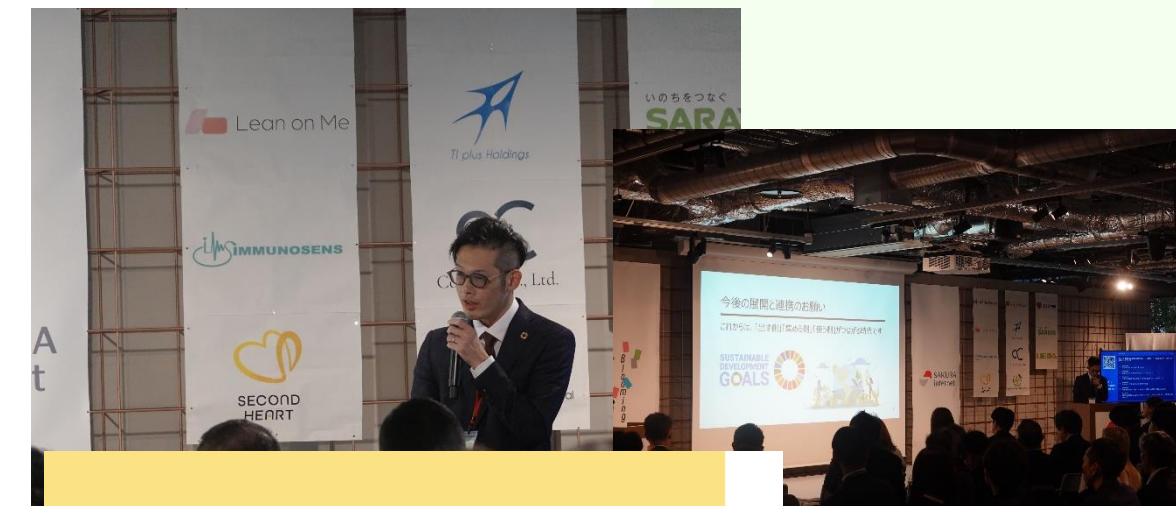


アップサイクル 未利用材料に新たな命を吹き込み、生まれ変わらせる



4 事業連携とソリューション提案

サラヤ『新冷凍システム』活用した事業展開には、課題解決+α
衛生管理 × 効率化 両方を向上させることが可能



植田油脂の取組み



共催者による取組紹介



OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション 由比 様

組織概要

2050年にカーボンニュートラルを達成するため、大阪府だけではなく、府内市町村をはじめ、環境省、経済産業省を巻き込んだ官民共創の取組みとして、官民共創ビジネスプラットフォームを、2021年7月27日に設立。

ピッチ概要

OZCaFは、GXだけではなく、DX、SXの推進にも寄与しており、多岐にわたる企業の共創、社会実装をコーディネート。
プラットフォームとして、全国の事業者、自治体、行政機関のパイプ役を担い、地域課題の解決に繋がる公民連携の新たな価値創出に向けて、ピッチ（共創提案発表）×マッチング（相互交流）の場を多く提供していることを紹介。



Blooming Camp さくらインターネット(株) 時任 様

組織概要

個人から法人、文教・公共分野など、ニーズに合わせて幅広くサービスを提供。

ピッチ概要

「やりたいこと」を「できる」に変えるというさくらインターネット(株)のスローガンとイノベーション拠点「JAM BASE」の目的である「多様な人々が集い交わることでアイデアやイノベーションが生まれる」という2つの世界観を融合し、社会全体のイノベーション創出に寄与する取り組みや企画を紹介。



今までに実施した企画の事例

五感

- シーズメンバー7名(5所属)が参加したコラボイベント
- 音や香りと行った「五感」をテーマとして、メンバー共創イベントを実施
- 仮説検証のプレイベントには計23名が参加



日替わりゲストBar

- 夜を中心に、週替わりでゲストを招き、1日だけのBarマスターをしていただく
- テーマに沿ってマスターがセミナーやワークショップを展開
- もしくはテーマを設定してマスターを中心に他の参加者との会話を楽しむ



オールライトDAY2025

- 株式会社フェリスモのプロジェクトとして誕生した「オールライト研究所」が主催
- インクルーシブデザインをテーマとする5団体が集まる展示や試着・体験会、トークイベントを実施
- シーズメンバーやコミュニナが準備や運営、当日のファシリテーションを担当



大阪府松原市のポップアップ

- 大阪府松原市の観光協会とコラボし、Blooming Kitchenでポップアップショップを展開した施設
- 松原の名産品販売に加え、カレーやお酒の提供も実施
- 自治体がBlooming Kitchenを活用する一例となった



生成AI Share Lab Cafe

- シーズメンバー2名がメインとなり企画運営したイベント
- 生成AIを自分なりに使い、試行錯誤してきた皆さんが集い、活用方法やお悩みをシェアする場
- コミュニティへの発展を目指す



コミュニナを囲む会

- シーズメンバー たりんごさん発案の、コミュニナマネージャーを掘り下げるイベント
- コミュニティマネージャーを起点に、Blooming Camp、シーズメンバー、一般参加者が集い、より場を深く知るきっかけとなるよう、シリーズで展開



地方公共団体によるリバースピッチ

豊中市
都市経営部広報戦略課
〈ピッチタイトル〉
市民参画促進アプリ

泉大津市
成長戦略課
〈ピッチタイトル〉
泉大津市が目指す地域社会と
泉大津市の官民連携戦略について

枚方市
総合政策部政策推進課
〈ピッチタイトル〉
子どもの体験機会の充実について

ピッチ概要

課題

- ①若者や子育て世代の市政参画
- ②市民から収集した意見の分析・利活用
- ③意見の市政への反映プロセスの透明化

求めるソリューション

- ①デジタルを活用した意見聴取ができる仕組みの提案
- ②予算規模等を含めた具体的な提案ができる事業者とのマッチング

例えば、こんなことを考えています！

豊中市
TOYONAKA CITY

多様な市民が気軽に市民参画ができるアプリ

市民参画促進アプリ

ゲーム性など遊び心ある仕掛けを！

意見を投稿

投稿された意見を分析

市政への反映が見える化

共創のまちづくり

行政

市民

来年度予算化も検討しています！



ピッチ概要

課題

- ①未病予防先進都市の実現
- ②国際ハブ都市の実現
- ③実証実験都市の実現

求めるソリューション

- ①日本や社会に共通する社会課題解決に向け、ポテンシャルのあるソリューション



ピッチ概要

課題

- ①住みたい、住み続けたいまちとして子育て世代に選ばれる枚方市に
- ②住み続けたいまち=子どものウェルビーイングの向上を目指した、子どもの体験機会の充実

求めるソリューション

- ①子どもに体験機会を提供できるイベント
- ②イベントブース等で子ども向けに提供できるワークショップ等のアイディア
- ③ワークショップや授業等で体験機会として使える資機材やコンテンツ

新施設・屋内遊び場「(仮称) 子ども未来館」に多彩な遊具をそろえるプロジェクト

ふさと納税型クラウドファンディング実施中 (～1月20日)

子どもがワクワクするような公園遊具を設置したい！
～こどもの遊び場整備事業～



第1部・第2部交流会

- 第1部と第2部のピッチの後には、交流会を実施しました。
- 交流会では、登壇した金融機関や企業、地方公共団体など多くの来場者が参加し、新たな関係構築のため、皆さんが積極的に名刺交換や意見を交わされていました。
- 実際に、交流会での話を通じて、個別で打ち合わせをすることになった登壇企業と地方公共団体もおられるなど、新たな公民連携のきっかけとなる場を設けることが出来ました。
- また、地方公共団体×登壇企業の繋がりに加え、関西経済を盛り上げるため、金融機関×金融機関の繋がり創出の場にもなるなど、当イベントの目的の一つである連携促進を実現しました。



当日アンケート

～Slidoを使ってリアルタイムで、感想を投稿！～



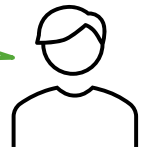
毛細血管の測定してみたいです。
自治体と取り組んだ事例ありますか。

生涯と障害、社会に融和するイメージの説明が分かりやすかったです。



体積1/10000、コスト1/1000!
すごい検査キット!

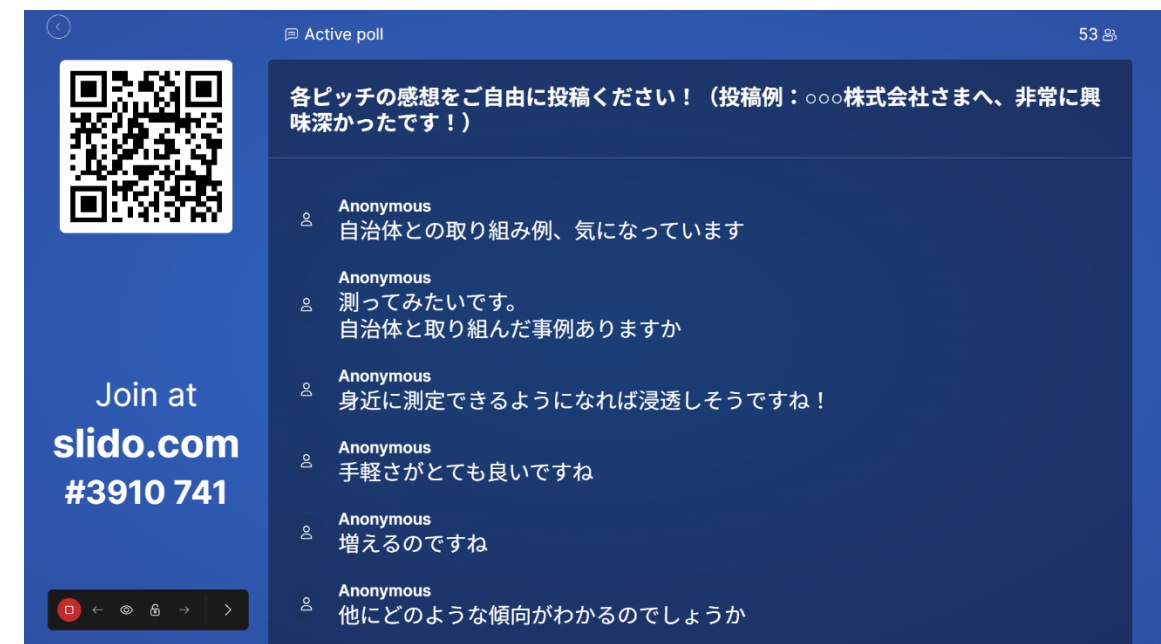
インフラの整っていない場所においても、
清潔なトイレを設置できることには感動します!



インフラが地域で維持できるようにする
素晴らしい事業だと思います。

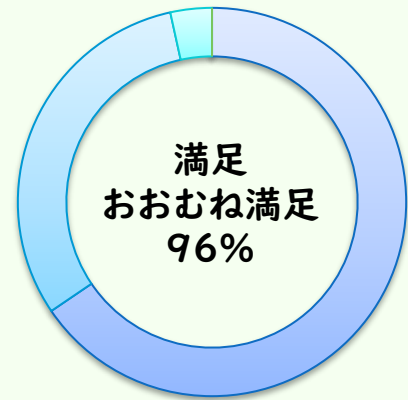


美味しく環境に配慮することができる
のはとてもいいですね!



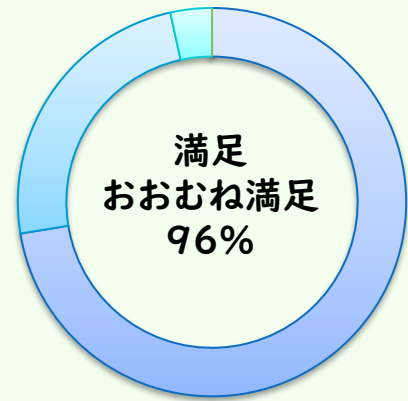
後日アンケート結果

イベント全体への満足度



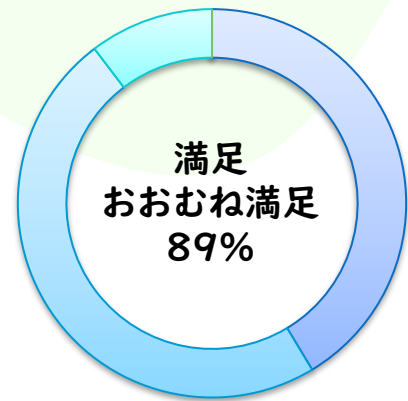
■ 満足
■ おおむね満足
■ どちらともいえない
■ やや不満
■ 不満

ピッチへの満足度



■ 満足
■ おおむね満足
■ どちらともいえない
■ やや不満
■ 不満

名刺交換会への満足度



■ 満足
■ おおむね満足
■ どちらともいえない
■ やや不満
■ 不満

参加自治体からの声

- 普段繋がることのないスタートアップ企業の取組を知ることができた。
- お会いしたい企業と繋がることができた。
- 金融機関から企業推薦理由を聞くことができるピッチは初めてで、説得力が増した。
- 企業のピッチが、自治体との連携を見据えたものが多く、今後の連携を想像できた。
- 具体的に連携の打ち合わせを進めることになった。

参加企業からの声

- 多くの自治体や金融機関の皆さまとネットワークを形成することができた。
- 交流会で自治体と名刺交換する機会があり、また、登壇企業の発表も興味深いものだった。
- 弊社の提案内容について、自治体と面談を実施することになった。
- 自治体様との対話で課題の解像度が上がり、協業観点での可能性を感じた。

参加金融機関からの声

- よくスタートアップイベントに参加しているが、いつも見かける同じような顔ぶれでなかったのが特によかった。
- 各支援金融機関と企業の組み合わせ、自治体も含め様々な立場の組織の話が聴けた。
- 豊中市、泉大津市、枚方市のプロポーザルの方向感が知れたのがありがたかった。





さいごに

本イベントにご参加・ご協力いただいた皆さま誠にありがとうございました。

万博を契機に高まった社会課題への関心やイノベーションの機運を地域に根付かせる新たな連携のきっかけとなる場を提供したいという思いで、本イベントを開催しました。

イベントを通じて、地域課題は、一つの主体だけで解決できるものではなく、地方公共団体、金融機関、企業など業種の垣根を越え、地域全体で取り組むべきことだと改めて認識しました。

本イベントが、地域の繋がりを強めるきっかけになることが出来れば幸いです。

当局は、地域の「つなぎ役」として、今後も様々な地域連携の取組を実施してまいります。

近畿財務局 総務部総務課 地域連携推進係

☎:06-6949-6350

✉:kinzaikikaku@kk.lfb-mof.go.jp

きんざいニュースのバックナンバーは[こちら](#)。

